


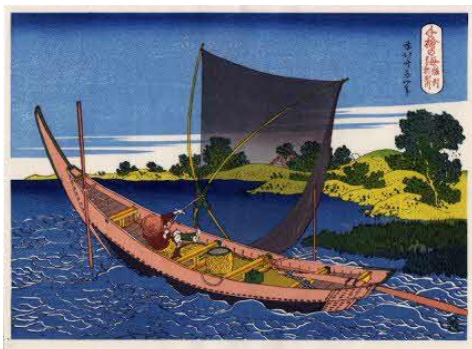
壬生町消防団通信 	纏 ま と い		発行 NO, 9 令和 3年 8月
	記事 暴れ川 (坂東太郎)	特集 消防団員のある 1日 消防団員 紹介	壬生町役場総務課 消防防災係発行(不定)
			お問い合わせ 81-1808

暴れ川 3兄弟

古くから、大きな洪水や水害を出す川のことを、人は「暴れ川」と呼び、江戸時代より本州、九州、四国の水害が多い大きな河川に、愛称をつけて呼んできました。

その代表的な3河川が、関東の坂東太郎、九州の筑紫次郎、そして四国の四国三郎が有名ではないでしょうか。

ばんどうたろう坂東太郎は ⇒ 利根川
つくしじろう筑紫次郎は ⇒ 筑後川
しこくさぶろう四国三郎は ⇒ 吉野川と
なります。



関東の坂東太郎(利根川)とは、坂東(古くから碓氷峠と足柄峠より東の地域を坂東と呼びました。関東)にある日本で1番大きな川ということで太郎(長男?)の愛称で呼ばれています。

古来、利根川は太平洋ではなく、江戸湾(現在の東京湾)に注いでいました。現在のような流路となったのは、江戸時代に行われた河川改修工事により(利根川東遷事業(とねがわとうせんじぎょう)と呼ばれ)、現在の利根川の骨格がつけられました。

東遷事業の目的は、江戸を利根川の水害から守り、新田開発を推進すること、舟運を開いて東北と関東との交通・輸送体系を確立することなどに加えて、東北の雄、伊達政宗に対する防備の意味もあったといわれています。

九州の筑紫次郎(筑後川)とは、阿蘇山を水源として九州地方北部を熊本県、大分、福岡、佐賀の4県を流れ有明海に注ぎ、流路延長143kmで九州地方最大の河川です。

一夜にして流域一帯を洪水に飲んでしまったことから、別名「一夜川」とも呼ばれます。筑紫と言えば江戸時代に九州全体をさす言葉でした、九州の一大河川であり、治水に人々の頭を悩ませてきた背景から、筑紫次郎の名がついています。



【重要文化財・筑後川昇開橋】



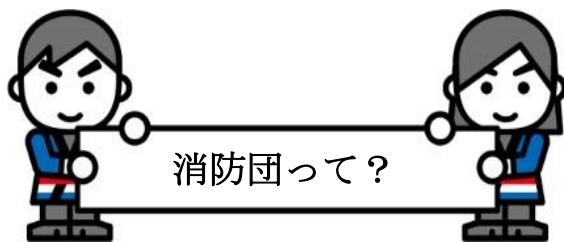
四国の四国三郎（吉野川）とは、高知県と徳島県を流れ紀伊水道に注ぎ、流路延長194kmの清流として、以前3年連続全国で最も水質が良い河川の一つに選ばれました、また名前の由来は流域にヨシ（葦、アシ）の植生が多いことから、吉野川の名がついたと言われています。

四国三郎も、四国の肥沃な大地を潤すと同時に、非常に水害が多かった川です。

上流で起こった豪雨によって、下流域がめちゃくちゃになることが多かったようです。

坂東太郎、筑紫次郎、四国三郎と愛称がついているのが面白いですね。

今も昔も日本に住む以上、河川と人とは切っても切れない関係にあります、江戸時代の治水は水害対策はもちろん、貴重な生活資源を運ぶ水運確保の意味合いもありました。



消防徽章（しょうぼうきしょう）について

消防団章（昭和22年12月2日制定）



桜の花を使用しているのは、桜の花が日本の象徴であり、郷土愛護の精神を表したものであるとともに、桜の花のように潔（いさぎよ）しと言う心意気を表したものであると言われています。

花の中央にあるY型章は、江戸時代、町火消のまといを上から見た形、また、町火消が破壊器具として用いた刺股（さすまた）の形を図案化したものなど諸説がありますが明確にはされていません。

消防章（昭和23年3月7日制定）



雪の結晶の拡大図を基礎とし、これに日章を中心としてホース、管そう、それにノズルから放水する水柱を配したものです。

雪の結晶は、水、団結及び純潔を意味し、消防職員の性情を表し、ホース、管そう、そして水柱は消防の任務を完遂する機械と水、日章は、消防のあり方、すなわち住民の太陽でありたいという願いを表したものです。

消防徽章にあるように、消防職も、消防団員も桜や雪のように潔い人の集まりです。

消防団員のある一日 (巡回活動)

消防団員、Mさんは、普段町外にある会社に勤めています、仕事は朝8時～17時までで、職場の中では製造設備保守業務と言いまして、設備修理やメンテナンスがメインの業務となり、分解・組立てなど細かい調整も多く、気が抜けない作業ですがやり甲斐があります。

仕事は毎日忙しいですが、職場の仲間が優しく親身なって相談に乗ってくれます、とても雰囲気がよく楽しく仕事をしています。

今日は、月3回ある部の活動日のため仕事が終わってから、都合のつく仲間と夜の6時から消防車両で担当地域の巡回に出動します、また巡回に合わせて消火栓の点検も行いながら、地域の安全のため活動しています。今日の巡回も夜7時30分には終わり8時には全員が帰宅しました。少し疲れがあり大変だなと思う時もありますが、地域の安全のためになるのならと思い活動をしています。

(消防団員、Mさんからお話を伺いました。)

★ 我が町の消防団 ★

第3分団の新しい顔を紹介します。 (#^.^#)



第3分団、分団長 鈴木宏明さん、(通称 ワキさん) 名前のヒロアキがいつしか、ワキになったそうです。友達や、団本部内でも親しみをもってワキさんと呼ばれています。

ここで私事になりますが、小生の息子とワキさんが同級生だと知り、驚きました。

(世間は狭いなと、つくづく感じます。)

【自己紹介】

- 1、趣味は、 野球・野球観戦
- 2、特技は、 ポンプ車操法2番員
- 3、今、熱中していることは、 水槽アクアリウム
- 4、分団長として、令和3年4月より、3分団分団長に任命されました。

未熟者ですが、第3分団第5部にて8年間培った経験を活かし、壬生町の安心・安全のため、また壬生町町民の生命・財産を守るため活動してまいります。

壬生町消防団員としての自覚と誇りを持ち邁進していきますので、皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

第3分団 副分団長紹介



第3分団、副分団長 吉葉和正さん、
吉葉さんは、専業農家でお米や野菜を栽培し、農協や市場に出荷しています。

また、災害が発生するといち早く現場に出動し、副分団長として団員の補佐役に徹し、時には団員として活躍しています。

【自己紹介】

1、趣味は、 御朱印集め、登山、ハイキング

2 特技は、 物持ちが良い

3、今、熱中していることは、ドジョウの飼育

(田んぼの用水路で捕まえてから、今年で3年目になります。)

4、副分団長として、4月1日より、第3分団副分団長に就任しました吉葉と申します。

重責を負うこととなり身の引き締まる思いですが、町民の安心安全のため一生懸命頑張ります。

また、今回同時期に第3分団長に就任した鈴木分団長と協力しながら第3分団をまとめていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

事務局紹介



【自己紹介】 事務局

今年4月から、消防防災係に移動になりました、山川慶一です、以前は、スポーツ振興課で仕事をしていました。

中学、高校、時代は陸上でマラソンをしていましたが、日本大学進学後はその経験を活かして駅伝部のマネージャーとして、箱根駅伝を支え、その日本大学時代の仲間で箱根駅伝に出場し、2区で12人抜きし区間賞を取ったケニア出身の、ベンジャミンさんを、町の地域おこし協力隊員として町内のランニング文化を普及させ、小中学生らの指導などに当たっていただくために来ていただきました。

消防防災係では、マラソンで培った体力と行動力で、消防防災係の仕事を頑張りますので皆様のご協力よろしくお願いいたします。

オモシロ情報 (生ごみの処理)

生ごみのニオイ防止方法を試してみました。生ごみを新聞紙で包み水分を吸収させ、ビニール袋に入れるだけです。これで、実際に臭いが激減し、見た目も不快感がなくなりました。災害時は、ごみ収集が止まる可能性があり、生ごみが問題になることが考えられます。是非一度、お試し下さい。



- ①新聞紙を用意し、生ごみの水分を新聞紙に吸収させます。
- ②生ごみを包んだ新聞紙をビニール袋に入れ、しっかり密閉してからゴミ箱に捨てましょう。



消防団サポート事業 (消防団員応援の店)

現在、消防団員応援の店に登録しているお店は 31 件ですが、今後さらに協力店が増えるよう、団員の皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

また、団員皆様の応援の店のご利用をお願いいたします。

団員皆様が利用することで、地域活性化になりより多くのお店に制度が広がります。

(現在までの登録店) 31 店舗 (R3.8 現在)

いろり焼き BUU	蕎麦吉本店	居酒屋 まし田	さえぐさ飯店
フォーシーズンズ壬生	らーめん処 鈴乃屋	(有) 愛輪 (整備)	清 華 楼
あいケアステーション	河野辺畳店	一 心 亭	田舎菓子処 増田屋
中川正二商店	中華食堂 はくうん	時遊館 ナカザト	手打ちそば 甚作
ほしいも王国戸崎農園	農家そば処 蕎香	お茶とお惣菜のパオ	ストロベリーファーム
割烹 山水亭	ダイニング ポン太	ファミリー衣料のざわ	代行運転 輝グループ
ダンディ・ライアン	ホルモン屋 壺亭	マミーポットみぶ	(株) 壬生自動車学校
ときめきステーション	みぶのおばちゃんち	ヤオハンスーパー壬生店	

各お店のサポート内容は、ホームページをご覧ください。

(登録方法)

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、(安全安心) 壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録店の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団応援の店で検索できます。

消防団サポート事業 (消防団協力事業所)

消防団協力事業所は、消防団活動に協力していただいている事業所で、地域に対する社会貢献及び社会責任を果たしていると認められ、事業所の協力を通じて地域防災体制が一層充実されることを目的とした制度です。

(現在までの登録事業所) 37事業所 (R3.8現在)

大橋建設 (株)	旭化成カラーテック (株) 壬生工場	下野農業協同組合	(有) 篠原造園土木
(株) セーフ	戸崎花園	河野邊畳店	(株) TPA
(株) アーレスティ 栃木	(株) 足利銀行 壬生支店	日産自動車 (株) 栃木工場	(株) SUBARU 航空宇宙カンパニー
(株) 鈴木造園	(株) ジョイフル本田 宇都宮店	社会福祉法人 星風会	GKNドライブライン ジャパン (株)
獨協医科大学	ビー・ブラウンエース クラブ (株)	大垣農園	橋本さく泉 (有)
(有) 阿彦板金工業	(株) アドジャパン	クレハ合繊 (株)	(株) ムトウユニパック 栃木工場
レンタ建機 (有)	(株) 水井	(株) まるつね	あいケアステーション 六美
(有) 角田金型製作所	住化プラスチック 株式会社 栃木工場	有限会社 和光工業	大関工業
改伸工業株式会社 栃木工場	北関東総合警備保障 株式会社	社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会	株式会社 北 研
吉葉農園			

(登録方法)

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、(安全安心) 壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録事業所の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団協力事業所で検索できます。